

令和 5 年度(2023 年度)高校講座実施報告
(10 月分)

令和 5 年 11 月 17 日

●埼玉県 県立所沢北高等学校(令和 5 年 10 月 27 日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 小林久美子 主査

開催形式: 対面



●千葉県 県立市川昂高等学校(令和 5 年 10 月 26 日)

講演テーマ: 国際理解講座 ～外務省の仕事～

講師: 在外公館課 在外勤務支援室 山崎太 課長補佐

開催形式: 対面



●長野県 私立東海大学付属諏訪高等学校(令和5年10月26日)

講演テーマ: 外交について、外交官の仕事について等

講師: 日本 ASEAN 友好協力50周年特別首脳会議事務局 松本幸之助 事務官

開催形式: 対面



●長野県 公立諏訪二葉高等学校(令和5年10月25日)

講演テーマ: 外交について、外交官の仕事について等

講師: 日本 ASEAN 友好協力50周年特別首脳会議事務局 松本幸之助 事務官

開催形式: 対面



●青森県 私立五所川原第一高等学校(令和5年10月24日)

講演テーマ: 外務省の仕事～国際協力の現場から

講師: 在外公館課 現地職員管理官室 小山裕基 現地職員管理官

開催形式: 対面



●青森県 県立弘前南高等学校(令和5年10月23日)

講演テーマ: 外務省の仕事～国際協力の現場から

講師: 在外公館課 現地職員管理官室 小山裕基 現地職員管理官

開催形式: 対面



●京都府 京都市立開建高等学校(令和5年10月18日)

講演テーマ: 君たちはどう生きるか

講師: 中東アフリカ局 中東第一課 末光拓海 主査

開催形式: 対面



●京都府 府立向陽高等学校(令和5年10月17日)

講演テーマ: 君たちはどう生きるか

講師: 中東アフリカ局 中東第一課 末光拓海 主査

開催形式: 対面



●東京都 国立東京学芸大学附属高等学校(令和5年10月13日)

講演テーマ: 外交とは、外務省に入るためには

講師: 日本 ASEAN 友好協力50周年特別首脳会議事務局 奥田航 事務官

開催形式: 対面



●東京都 私立文化学園大学杉並中学高等学校(令和5年10月11日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 国際協力局 地球規模課題総括課 山下陽一 首席事務官

開催形式: 対面



●富山県 県立小杉高等学校(令和5年10月6日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 総合外交政策局 国際平和・安全保障協力室 西田大輔 主査

開催形式: 対面



●富山県 県立砺波高等学校(令和5年10月5日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 総合外交政策局 国際平和・安全保障協力室 西田大輔 主査

開催形式: 対面



●山形県 県立山形南高等学校(令和5年10月4日)

講演テーマ: 総合的な探求

講師: 会計課 総務室 松本浩明 課長補佐

開催形式: 対面



●山形県 県立南陽高等学校(令和5年10月3日)

講演テーマ: 外国語学習の重要性等

講師: 会計課 総務室 松本浩明 課長補佐

開催形式: 対面



参加者からの感想(抜粋)

- 外務省の仕事内容については詳しく知らなかったが、国際会議の準備や通訳、外交政策の企画・立案、海外にいる日本人の安全確保など、多岐にわたる分野で仕事を行っていることを学んだ。
- 私たちが今、当たり前のように得ている平和や安全、豊かさは、世界の国々や地域との安定した関係なしでは成り立たないと学び、自分にもできることを考えて行動していきたいと思った。
- 外国で働くことに興味がなかったが、今回の講座を聴いて外交官という職業にも興味がわいた。今後の文理選択や、将来の職業選択の参考にしたい。
- 外務本省で働いている職員数よりも、在外公館で働いている職員数の方が多いことに驚いた。また、外務本省は司令塔として在外公館に指示を送り、在外公館はその指示を受け各地域の情報を収集、分析、報告していると学び、同じ外務省員でも全く分野が異なる仕事を行っていることを知った。
- 世界196か国のうち、多くの国で十分な教育や医療を受けられない人々がいると知り、自分のおかれている環境が当たり前ではないと実感するとともに、解決に向けて自分にできることを考えていきたいと思った。
- 今まで、外務省は自分にとって遠い存在であると思っていたが、業務内容を聞くと自分の生活や環境にも深く関わっていることを知り、思っていたよりも身近な存在であると思った。
- ほとんどの業務はITなどの技術を使って行われると思っていたが、実際には外国に行って直接交渉をすることもあると知り、外交活動には多くの時間と労力がかかっていることが印象的だった。
- 外務省の仕事内容だけでなく、海外の情勢や現在も続いているロシアとウクライナの戦争、イスラエルとパレスチナの戦争などについても学び、今まで関心のなかった分野へ視野を広げることができた。
- 外国へ行って様々な文化を学んだり、日本を外国の立場から見たりする経験をしてみたいと思った。そのためにも、今後より一層、英語の勉強に力を入れていこうと思った。